

令和6年度

社会福祉法人 足柄緑の会

事業報告

1	社会福祉法人足柄緑の会	1～6
2	法人利用者状況等	7～13
3	コスモス学園中沼ジョブセンター	14～18
4	コスモス学園中沼ジョブセンター 生産事業部	19～20
5	コスモス学園中沼ケアセンター	21～23
6	居宅介護事業所それいゆ	24～25
7	コスモス学園松田センター	26～33
8	相談支援事業所あすなろ	34～35
9	コスモスホーム	36～40

1. 社会福祉法人足柄緑の会

1. 概況

(1) 新型コロナウイルスの状況

発症例もあったが、勤務体制に支障が生じることはなかった。ノロウイルスの発症例もあったが、適切な対応を周知できた。

(2) 行事

6年ぶりに、一般公開による学園祭が開催できた。地域やボランティアの方々のお手伝い、そして、行政を初めとした関係各所のご来場により、大変盛り上がった。

就労系のバス研修旅行は、公用車を使用して、会社見学、食事会を行った。生活介護のバス旅行は、公用車を使って食事会を行った。利用者さんには大変好評だった。

2. 理事長の主な行動

(1) 情報交換・情報発信

① 総合施設長・総務部長と毎週1回2時間程度のミーティングを行っている。行動予定、懸案事項の確認、その他情報交換は、意思統一が図れ有効に機能している。

② 毎月1日発信の理事長通信は、令和7年3月で52回となった。ビジネス講座も取り入れるようにしている。

③ 理事長・総合施設長・総務部長・コスモス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼ジョブセンター」という）所長・生産事業部長による「中沼ジョブセンター将来検討会議」で、プラスチック生産事業を含めた中沼ジョブセンター全体の在り方と、その将来に向けた方向性を議論している。今後、新たな事業の立ち上げと、生産事業部の事務所の移動等を決定した。

④ 6年ぶりに開催した学園祭の場で、国会議員や首長をはじめ、多くの議員、福祉関係者と情報交換ができた。

⑤ 行事や全体会、職員会議、保護者会等に出席し、職員や利用者、保護者との意思疎通を図った。

⑥ 7月、南足柄市社会福祉協議会において、「地域ネットワーク連絡会」が発足し、会員として出席した。地域の社会福祉法人、医療法人他福祉関係の事業所と社会福祉協議会が連携し、地域福祉を進めていくことを目的にしている。12月に第2回が開催された。次年度も継続する。

⑦ 10月、南足柄市特別職報酬等審議会が開かれ、委員として出席した。11月に第2回が開催された。

⑧ 理事会で審議の後、勉強会を行った。

・7月22日 令和6年度報酬改定について 川端総合施設長

- ・ 9月23日 成年後見について 浅沼評議員
- ・ 11月21日 社会福祉制度の変遷とこれからの障害福祉 関監事

(2) 中・長期対策

① 設備の老朽化対策

- ・ コスモス学園中沼ケアセンター（以下、「中沼ケアセンター」という） 外壁塗装 4,862千円 車両入替1,475千円 計6,337千円
 - ・ 中沼ジョブセンター 中古成形機2台購入880千円（3台売却550千円）
 - ・ 法人全体の器具備品 パソコン6台入替1,101千円 エアコン（トイレ）設置 312千円 計1,413千円
- （参考）会計ソフトのクラウド化2,523千円のうち、器具備品の購入はパソコン1台となり、他の費用は、初期設定、2年分のソフト利用料のため、賃借料となる。
- 合計8,630千円 自己資金で賄った。

② 不稼働資産対応

特に進展はなかった。

③ 後継者問題

中沼ジョブセンター生産事業部長の後任問題は、深刻に考えており、「中沼ジョブセンター将来検討会議」では常に議論している。

3. 法人の運営方針

(1) サービスの質の向上

① 就労継続支援B型

ア 受注状況

- ・ 中沼ジョブセンターは、受注作業の売上が増加し、平均工賃が2万円を超えることができた。コスモス学園松田センター（以下、「松田センター」という）は、工賃は前年度並みであったが、施設外就労先が開拓でき、次年度はアップが見込める。
- ・ 障害者優先調達推進法により、行政からの受注依頼が増加した。足柄上地区1市5町に対して、「工賃1,000円UPプロジェクト」を提唱した。

イ プラスチック成形

- ・ 取引先との交渉で、物価高騰による製品単価の値上げが認められ、影響は最小限に抑えられた。
- ・ 成形機6台体制で取組んだが、生産に支障はなかった。経費削減となった。
- ・ 「中沼ジョブセンター将来検討会議」において、事業所内の環境改善を図ることができ、利用者の活動スペースが充実した。

② 生活介護

ア 中沼ケアセンター

- ・ 利用者の作業にタブレットを取り入れ、作業種を増やした。

- ・自閉症の利用者に対し、パーテーションによるエリアを作った。
- ・絵カードを使い、意思疎通を取りやすくした。
- ・PDCAサイクルの実践を始めた。

イ 松田センター

調理活動を再開した。また外出活動では、活動先を増やした。

③ 共同生活援助（グループホーム）

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に努めた。地域の防災訓練は雨天で中止になったものの、6月の美化活動、11月の中沼自治会秋祭りに参加した。

④ 居宅介護（ヘルパー）

従来どおり、感染症対策を十分取りながら継続的に実施した。

⑤ 相談支援

対面による相談支援を行った。

（2）職員の教育・育成

① 資格取得について

3名が介護福祉士、1名が相談支援専門員の資格を取得した。

② 新入職員教育

入職者に対しては、現場のOJTがすべてである。担当職員をできるだけ固定し指導した。

③ 採用活動

従来どおり、学校訪問、事業所説明会、インターンシップ等をきめ細かく実施した。求人広告媒体による公募を積極的に行った。

採用ツールの仕組みを作る手段として、SNS委員会が発足した。新年度より、これが具体的に動き出し、スマートフォンを通してコスモス学園の取り組みが若年層の目に触れるよう、積極的に公開する。

④ 後継者の育成

所長を補佐する人材の育成は急務である。副所長への登用、正職員への登用、配置換え等により、育成を図った。

⑤ 職員のメンタルヘルス

メンタル不調の職員はいなかった。

今後とも、定期的なメンタルヘルスチェックを行い、早めの気づき、早めの対応につなげる。何より、風通しの良い職場環境を維持することが一番必要なことである。

⑥ 勤怠管理

「働き方改革」を踏まえ、決められた労働時間と時間外労働の明確化を図った。そして、管理者による適正な時間管理を行い、職員の労働時間に対する意識改革の醸成に努めた。

(3) 法人の社会的責任の遂行

中沼ジョブセンターでは、1月7日、南足柄市社会福祉協議会の冬休み寺子屋教室で、1月22日、山北町川村小学校の卒業記念行事で、ロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。利用者さんも数名参加し、地域貢献を果たした。

(4) 地域における公益的な取組

災害対応訓練（中沼3回、松田3回実施）、権利擁護支援（KWネット）、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業に参加し、行政や他の福祉施設、医療機関等との連携、協働を図った。

(5) 法令順守

- ① 幹部職員との定例ミーティング等により情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、法令改正・働き方改革に対応した。
- ② 役員の勉強会は、理事会の時間内で、「令和6年度報酬改定について」、「成年後見について」、「社会福祉制度の変遷とこれからの障害福祉」の勉強をした。

(6) 財務安定化

- ① 老朽化対策については、この先10年を一つの目途とし、実施時期、金額、調達方法等を洗い出し共有した。
- ② 令和6年度報酬改定により、南足柄市の地域区分が、その他から7級地になったこと、就労継続支援B型の基本報酬の引き上げなどにより、自立支援給付費収益が約20,000千円増収となった。
- ③ 会計ソフトのクラウド化により、IT導入補助金1,548千円（2年分）を受給した。
- ④ 最低賃金の大幅上昇、更に、公共料金、食材、保険、修繕工事代等値上げの中、法人全体で、経費の削減や計画の見直しに努めた。報酬改定の効果もあり、当期活動増減差額は、前年度より増加し黒字を計上できた。

4. 評議員会・理事会実施報告

(1) 評議員会

定時評議員会 令和6年6月26日（水）

報告事項

- ① 監事監査報告
- ② 令和5年度事業報告

決議事項

- 第1号議案 令和5年度計算書類等の承認の件
- 第2号議案 定款変更の件

(2) 理事会

令和6年度第1回理事会 令和6年5月30日（木）

報告事項

- ① 監事監査報告
- ② 理事長職務執行状況報告
- ③ 資金運用状況報告

決議事項

- 第1号議案 令和5年度事業報告の承認の件
- 第2号議案 令和5年度計算書類等の承認の件
- 第3号議案 慶弔見舞金規程の変更の件
- 第4号議案 定時評議員会の招集の件

令和6年度第2回理事会 令和6年7月22日（月）

報告事項

- ① コスモス学園中沼ジョブセンター生産事業部からの報告
 - ア 株式会社GSユアサ 定期品質監査
 - イ ISO 9001（品質マネジメントシステム）定期審査
 - ウ KES ステップ2（環境マネジメントシステム）定期審査
- ② リスクマネジメントについての報告
 - ア 虐待防止・身体拘束対策委員会
 - イ 災害・感染症対策委員会
- ③ 令和5年度社会福祉充実残額
- ④ 修繕・車両入替等計画（令和6年度～15年度）
- ⑤ 借入金一覧表

決議事項

- 第1号議案 経理規程の変更の件

将来検討事項（役員勉強会）

- 令和6年度報酬改定について

令和6年度第3回理事会 令和6年9月23日（月）

決議事項

- 第1号議案 運営規程の変更の件

報告事項

- ① 自動車保険の更新
- ② ハラスメント防止規程第14条の定めに基づく報告

役員勉強会

- 成年後見について

令和6年度第4回理事会 令和6年11月21日（木）

報告事項

- ① コスモス学園中沼ジョブセンターの射出成形機の入替
- ② 令和6年4月～9月 財務三表報告

役員勉強会

社会福祉制度の変遷とこれからの障害福祉

令和6年度第5回理事会 令和7年1月28日（火）

決議事項

- 第1号議案 令和6年度第1次補正予算承認の件
- 第2号議案 職員紹介（リファラル）採用規程の制定の件
- 第3号議案 文書管理規程の変更の件
- 第4号議案 役員等賠償責任保険契約の件

報告事項

理事長職務執行状況報告

令和6年度第6回理事会 令和7年3月25日（火）

- 第1号議案 令和7年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和7年度予算承認の件
- 第3号議案 令和7年度資金運用計画承認の件
- 第4号議案 運営規程変更の件
- 第5号議案 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会からの社会福祉事業振興資金
借入に係る連帯保証人変更の件

2. 令和6年度法人利用者状況等

(1) 事業所別利用者数

令和7年3月31日付

関係機関		南足柄市			小田原市			秦野市			山北町			開成町			大井町			松田町			箱根町			横須賀市			平塚市			中井町			湯河原町			計		
事業所	障害支援区分	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中沼J C就労継続	2	1	2	3	1		1			0			0			0			0	1	1		0			0			0			0			0	3	2	5		
	3	2	1	3	4		4	2	1	3	1	1		0		1	1		0			0			0			0			0	1	1	10	3	13				
	4	5	4	9	2	1	3	1	1	2			0	1	1		0		0		0		1	1		0			0			0			0	9	7	16		
	5	1	2	3	1	1	2			0			0			0		0		0		0		1	1		0			0			0	2	4	6				
	6		1	1			0			0			0			0		0		0		0			0		0			0			0	0	1	1				
	区分なし	10		10	3	1	4			0			0	1	1		0	1	1		0		0		0		0			0			0	15	1	16				
	計	19	10	29	11	3	14	3	2	5	1	0	1	2	0	2	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	39	18	57
中沼J C日中一時	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2			0	2	1	3			0			0			0			0			0			0		0			0			0	2	1	3				
	3			0			0			0			0			0			0			0			0		0			0			0	0	0	0				
	4	1		1			0			0			0			0			0			0			0		0			0			0	1	0	1				
	計	1	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4		
中沼C C	3	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	4	1	1	2			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	1	2			
	5	3	3	6	2		2	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	6	3	9			
	6	3	5	8	2	8	10			0	1	1	2			0			0			0			0			0			0			0	6	14	20			
	計	8	9	17	4	8	12	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	18	32	
松田C就労継続	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	3			0	2		2	3		3			0			0	3	2	5			0			0			0			0			0	8	2	10			
	4			0	1	3	4	3		3			0	1	1	2	1		1	1	1		0			0			0			0			0	6	5	11		
	5			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	区分なし			0			0	2		2			0	2		2	1		1	1	1		0			0			0			0			0	6	0	6		
	計	0	0	0	5	3	8	8	0	8	0	0	0	3	1	4	5	2	7	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	7	29	
松田C日中一時	2			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	3			0			0			0			0	1		1			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	4			0						0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	5			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
松田C生活介護	3			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	4			0	1	1	2			0	1		1	1	1	2			0			0			0			0			0			0	3	2	5			
	5	1		1	2		2	2		2			0			0	1		1	2		2			0			0			0			0	8	0	8			
	6	1	1	2	2	2	4	1	1	2	1		1	1		1	1		1	1	1		0			0			0			0			0	7	5	12		
	計	2	1	3	5	3	8	3	1	4	2	0	2	2	1	3	2	0	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	7	25
コスモスホーム	1			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0	0	0			
	2			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0			0	1	0	1			
	3	2		2			0		1	1			0			0	2	1	3			0			0			0			0			0	4	2	6			
	4	2	2	4	1		1			0			0		1	1			0			0		1	1		0			0			0	3	4	7				
	5	2	3	5			0	1		1			0			0			0			0			0			0			0			0	3	3	6			
	6	2	2	4		2	2	1		1	1		1	1		1			0			0			0			0			0			0	5	4	9			
	計	8	7	15	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16	13	29	
合 計		38	27	65	29	20	49	17	4	21	5	1	6	8	3	11	10	4	14	5	2	7	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0	1	0	1	113	64	177
参考	R5年度合計	40	26	66	30	20	50	17	4	21	5	1	6	7	3	10	10	3	13	5	2	7	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	2	2	1	0	1	115	64	179

(2) 利用者年齢構成状況

令和7年3月31日付

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
就中 労沼 継J 続C	男	1	6	9	7	9	6		1	39	36.4
	女		2	3	5	3	4		1	18	39.2
	計	1	8	12	12	12	10		2	57	37.8
日中 中沼 一時J 時C	男			2			1			3	46.0
	女				1					1	43.0
	計			2	1		1			4	44.5
中沼 CC	男		2	6	5	1				14	38.1
	女			3	7	5	2		1	18	40.5
	計		2	3	13	10	3		1	32	39.3
就松 労田 継C 続C	男		1	3	10	5	2	1		22	37.4
	女				2	3	1		1	7	46.9
	計		1	3	12	8	3	1	1	29	42.2
日松 中田 一時C 時C	男			1						1	27.0
	女										
	計			1						1	27.0
生松 活田 介C 護C	男	1	2	5	9		1			18	30.2
	女		1	2	4					7	30.6
	計	1	3	7	13		1			25	30.4
										全平均	36.9
										男性平均	35.9
										女性平均	40.0

年 齢	18～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70歳 以上	合 計	平均年齢
ホス ーム モス	男		1	6	2	4	1	2		16	45.0
	女		1	4	3	4		1		13	44.1
	計		2	10	5	8	1	3		29	44.6

(3) 医療状況

内科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
5/20	47	31		78
7/24			35	35
10/28	43	26		69
1/29			46	46
計	90	57	81	228

利用者健康診断(JA)

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
3/10	49	30		79
3/12			49	49
計	49	30	49	128

歯科検診

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
6/26			45	45
7/10	47	29		76
計	47	29	45	121

インフルエンザ予防接種(任意)

実施日	中沼JC	中沼CC	松田C	合 計
11/25	41	28		69
11/27			37	37
計	41	28	37	106

(4) コスモス会(自治会・福祉会)活動状況

項 目	実 施	場 所
自治会役員定例会議	11回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
全 体 会	12回/年	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー 中 沼 ケ ア セ ン タ ー 松 田 セ ン タ ー 就 労 継 続 支 援 B 型 棟 松 田 セ ン タ ー 生 活 介 護 棟
献 立 会 議	4回/年	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 食 堂 松 田 セ ン タ ー 食 堂
納 涼 大 会	納涼大会(ポップコーン、ソフトクリーム)	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
コ ス モ ス 学 園 祭	学 園 祭 (各 店 舗 補 助)	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 中 庭

(5) 行事实施状況

実施日	行 事 名	場 所
7/19	納 涼 大 会	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
9/13	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
10/4	コスモスホーム利用者バーベキュー食事会	コ ス モ ス ホ ー ム
10/12	コ ス モ ス 学 園 祭	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
12/7	県西地区障害者文化事業 (コスモスホーム利用者外出)	川 東 タ ウ ン セ ン タ ー マ ロ ニ エ
12/14	コスモスホーム利用者忘年会	コ ス モ ス ホ ー ム
12/20	ク リ ス マ ス 会	中 沼 ケ ア セ ン タ ー 2 階
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー 1 階
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟
2/14	レ ク リ エ ー シ ョ ン	中 沼 ジ ョ ブ セ ン タ ー
		中 沼 ケ ア セ ン タ ー
		松田センター就労継続支援B型棟、生活介護棟

(6) ボランティア状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中沼JC	2		2	12		3	2	2		3			26
中沼CC										1	1	1	3
松田C		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
コスモスホーム													
イベント													
合計人数	2	1	3	13	1	4	3	3	1	5	2	2	40

(7) 防火・防災 訓練実施状況

実施日	訓練内容	事業所	参加人数
6/24	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	42
11/5	総合防災訓練	コスモスホーム	10
9/27	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	40
11/21	避難訓練 (火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	106
1/27	避難訓練 (地震+火災想定)	松田センター	41
3/16	避難訓練 (地震想定)	コスモスホーム	13
3/18	避難訓練 (地震+火災想定)	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	115
3/28	消火訓練	中沼ジョブセンター 中沼ケアセンター	33
合 計			400

(8) 研修・実習等受入状況

実施日	研 修 ・ 実 習 名	人 数
6/17	小田原支援学校3年生(校外)1日実習(松田センター)	1
6/24～6/26	職員採用実習(中沼ジョブセンター)	1
7/29～8/2	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
7/29～8/2	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
8/5～8/9	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	2
8/5～8/9	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
8/12～8/16	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
8/13～8/28	鎌倉女子大学保育実習(松田センター)	2
8/26～8/28	松田センター職員研修(中沼ジョブセンター)	1
8/26～8/30	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
9/2～9/6	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
9/9～9/13	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ジョブセンター)	1
9/30～10/4	教員免許特例法に基づく介護等体験実習(中沼ケアセンター)	1
10/21～10/22	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
10/29～10/30	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
12/2～12/3	小田原支援学校2年生実習(中沼ケアセンター)	1
12/9～12/11	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
12/19～12/20	小田原支援学校3年生実習(中沼ケアセンター)	1
1/30～2/7	帝京平成大学施設体験実習(松田センター)	1
2/10～2/14	小田原支援学校2年生実習(中沼ジョブセンター)	1
2/14	小田原支援学校3年生実習(中沼ジョブセンター)	2
	合 計	24

(9) 令和6年度職員配置状況

	総合 施設長	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		14				7			23
中沼 CC		1				19					兼務		20
それいゆ		兼務			1			7					8
松田C	1	兼務		1		24					6		32
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		兼務		1		4			19		1		25
総 務 部			1									3	4
合 計	1	1	2	3	1	61	1	7	19	7	7	3	113

令和5年度職員配置状況 <比較資料>

	総合 施設長	所長	部長	サービス管 理責任者	サービス提 供責任者	支援員	相談支援 専門員	ヘルパー	世話人	生産事業部	看護師	事務員	合 計
中沼 JC (生産事業部)		兼務	1	1		14				8			24
中沼 CC		兼務		1		19							20
それいゆ		兼務			1			6					7
松田C	1	兼務		1		21					6		29
あすなろ		兼務					1						1
コスモスホーム		兼務		1		4			18		1		24
総 務 部			1									3	4
合 計	1	0	2	4	1	58	1	6	18	8	7	3	109

(10) 令和6年度採用・退職状況

事業所	採 用	退 職
中沼 JC (生産事業部)	4	3
中沼 CC	2	3
松 田 C	5	4
コスモスホーム	4	1
あすなろ		
それいゆ	1	
総 務 部		
合 計	16	12

令和5年度採用・退職状況 <比較資料>

事業所	採 用	退 職
中沼 JC (生産事業部)	1	1
中沼 CC	5	3
松田C	2	2
コスモスホーム	1	1
あすなろ		
それいゆ		
総 務 部		
合 計	9	7

(11) 令和6年度 職員研修出席状況

日 時	外 部 研 修	人 数
7/3	社会福祉法人の経営力強化セミナー ～財務会計と労務管理～ 次世代経営幹部心得	1名
7/4、5	第51回関東地区知的障害福祉関係職員研究大会長野大会「新しい地平線を行く～支援とは感動だ～」	2名
7/18	WEBセミナー:BCP訓練の実践講座(LINEWORKS)	1名
7/23	令和6年度やまゆりの日講演会 ～共生社会の実現に向けて～	1名
7/31	神奈川県社会労務センター協議会 刈払機取扱安全衛生教育講習	2名
8/15～10/1	WEBセミナー:第9回ダウン症セミナー「ダウン症の青年期成人期支援のために必要なこと」	1名
8/29	支援スタッフ部会8月例会「支援現場で役立てよう！アンガーマネジメントの基礎と実践」	3名
9/12、13	全国グループホーム等研修会「どこまでやれるのか地域支援、どこへいくのかグループホーム」	1名
9/12、13 10/17、18	WEBセミナー:令和6年度強度行動障害支援者養成研修「基礎研修」	1名
9/27	障害事業所の皆さんのための虐待対応研修会	3名
10/3、4	全国知的障害福祉関係職員研究大会(福井) 『今こそ学び、語り合い、深めよう「私たちのウェルビーイング」』～楽しみは〇〇のとき～	2名
10/8	2024年 知的障がいのある方への支援	1名
10/16	社会就労センター協議会 県内施設視察研修会	1名
11/19	支援スタッフ部会11月例会「虐待防止・身体拘束廃止研修～自分や周りの支援をふりかえってみよう」	2名
11/28	能登半島の支援活動を通じて寄り添う支援を考える(防災研修)	1名
R7.1/29	WEBセミナー:県西地区グループホーム連絡会「行動障害(強度行動障害)支援の基本	1名
1/29、30	日中活動支援部会全国大会・関東地区埼玉大会 「日中活動事業所において本人の意思を中心に置いた支援の姿とは」	2名
2/5	WEBセミナー:障害者グループホーム職員オンライン研修「虐待防止と虐待対応」	1名
3/4	令和6年度都道府県経営協セミナー(後期)	1名
3/11	リスクマネジメント研修 ～利用者・スタッフともに安全な環境づくりのために～	1名
	法 人 研 修	
R6.6/7	・ 研修プログラム① 「不審者の対応について」 講師:松田警察署生活安全課 赤嶺氏 ・ 研修プログラム② 「事故を怒させないためには」 講師:松田警察署交通総務課 泉谷氏	28名
R7. 2/22	・ 午前 「自閉症スペクトラムについて」 講師:みんなの居場所駄菓子家まんま遊～と 代表 山崎 由恵 氏 ・ 午後 「他事業所の支援を知る」 各事業所で行われている日々の実践を報告することにより、他事業所の取り組みを知り 自事業所の支援課題の参考し日々の業務の参考にする	73名

3. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 40 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39	468
女	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	227
計	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	57	695
退所												1	1
入所	1												1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 5 年度	施設内利用率	110.4%	9,838 名
	施設外利用率	17.4%	1,558 名
	合計利用率	127.8%	11,396 名
(2) 令和 6 年度	施設内利用率	98.5%	10,284 名
	施設外利用率	18.5%	1,926 名
	合計利用率	117.0%	12,210 名

令和 6 年 4 月より就労継続支援 B 型定員が 40 名に変更となり、定員にゆとりができたことで 3 か月利用率も 125%を超えることがなくなった。新利用者 1 名が加わり、合計利用人数は増加した。

4. 工賃実績

月	上半期							下半期							年間合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計	
延べ利用者実績	1,078	1,090	970	1,075	1,031	1,029	6,273	1,079	985	1,003	988	917	965	5,937	12,210 人
工賃支払総額	991,297	995,647	925,967	983,387	951,207	929,507	5,777,012	994,817	919,587	955,617	941,947	894,933	917,137	5,624,038	11,401,050 円
稼働日数	22	23	20	23	23	22	133	23	21	22	21	20	21	128	261 日
平均工賃 (円)	時間額	230	228	239	229	231	226	230	230	233	238	238	244	238	233 円
	月額	20,231	21,009	19,092	21,040	21,220	19,873	20,411	21,206	19,605	20,961	20,021	19,519	19,958	20,311 円

令和 6 年度平均工賃月額 20,311 円 (前年度 18,926 円)

A 社より「プラウトハンドル検査」を受注し、年間 4 百万円を超える収益 となり、平

均工賃月額 は 20,000 円を超え、サービス費の区分も 1 段階上がった。

5. 日中活動

(1) 奉仕活動

赤い羽根共同募金の街頭募金に参加した。(小田原百貨店南足柄店にて)

(2) 廃品回収

- ① 段ボール、古新聞の回収を行い、毎週火曜日に松田センターに届けた。
- ② 各家庭から持ち寄ったアルミ缶は随時、中沼ケアセンターに届けた。

(3) 健康管理

身体機能の低下が著しい利用者が増え、日々のバイタルチェックは必須の状態となっている。また、食事形態の変更を余儀なくされる利用者も目立ってきている。

- ① てんかん発作を記録し、通院時の情報提供を行った。
- ② 個々の利用者健康診断結果をもとに、血圧、体重、サチュレーションの測定を導入した。
- ③ 朝の作業開始前にはラジオ体操を作業室ごとに実施し健康の維持に努めた。
- ④ 感染症対策として、出入口でのアルコール消毒、バイタルチェック、密を避けるための時間差対応などに取り組んだ。

(4) フリープログラム

昼休みはカラオケ、トランプ、UNOをグループで楽しめていた。

(5) 地域交流

- ① 納涼大会、学園祭にて近隣自治会や福祉会よりボランティアの受け入れを再開し利用者との地域交流ができた。
- ② 令和 7 年 1 月に南足柄市社会福祉協議会主催、2 月に山北町立川村小学校 6 年生を対象のモデルロケット教室を開催した。
- ③ 南足柄郵便局員が、作業ボランティアとして利用者と一緒に作業を行った。

6. 就労活動

(1) プラスチック製品の検査・計量・箱詰め・伝票作成・束ね・納品準備

3 名の利用者が B 社の納品準備を行えるようになった。

(2) 清掃活動

清掃作業を得意とする利用者を 2 名増やすことができた。

(3) 施設外就労

施設外就労先は、りんどう会館清掃、C 社、D 社、E 社の 4 社を請け負った。参加利用者 28 名、延べ 1,926 人が参加し、工賃向上につながった。

- ① りんどう会館清掃を月・水・金の週 3 回行った。
- ② C 社の構内除草作業（窓拭き、ゴミ拾い含む）を請負い、週に 2 回（火・

木) 取り組んでいる。大企業の中で作業を行うことで緊張感もあり、身だしなみへの意識や言葉づかい、挨拶など就労マナーの向上にもつながった。

- ③ D社の作業に松田センターと共同で毎日8名～9名が参加した。企業で求められる厳しさを肌で感じ、言葉づかいや相手への思いやり、納期に間に合わせなければいけない責任感を養うことができた。

- ④ E社の育樹作業（いのちの森プロジェクト）を週2回（月・金）取り組んだ（1月～3月を除く）。

（4）受注作業

全ての利用者が何らかの作業に携われるよう、幅広い作業種を用意した。

- ① F社

定期的な安定発注をいただき利用者の工賃向上につながった。

- ② A社

プラウトハンドル検査は、225,000本／月の受注となり、360,000円／月を売り上げ、安定的な収益につながった。

- ③ 神奈川県共同受注窓口

神奈川県共同受注窓口より、チケットパーキング、木工製品等の発注をいただき工賃向上につながった。

（5）障害者優先調達推進法に基づく行政との連携

足柄上地区地域自立支援協議会就労支援部会（以下、「就労支援部会」という）を通じて、行政、県西地域事業所に向けて障害者優先調達推進法の理解を働きかけた。

- ① 12月に首長会に出席し、「工賃1,000円UPプロジェクト」を提案した。

- ② 2市8町と県西地域事業所に向けて定期的に就労支援部会を開催し、優先調達実績の向上を求めた。

- ③ 県西地域事業所の就労支援パンフレット「マッチング請負人」を作成して、行政機関に配付した。

（6）ビジネスマナー

就労希望者に対して、個別支援を行った。

- ① 就労に必要な力をつけるために、イ）呼ばれたら返事をする ロ）仕事は一生懸命取り組む ハ）人に迷惑をかけない ニ）自分のことは自分でやる

4つの項目を日々目標に掲げて取り組んでいる。

- ② 身だしなみ、生活リズム、服薬管理、公共交通機関の利用法、SNSの使用マナー等の重要性を伝えた。

- ③ 日中活動を通じて、ビジネスマナーで学んだことを繰り返し実践した。

（7）実習支援

- ① コロナワールド

Hさん男性（20歳） 就労支援センターぽけっと紹介で職場体験実習に取り組んだ。期間：令和6年9月24日～9月26日（3日間）

② 焼き鳥だいが

Hさん男性（45歳） 就労支援センターぽけっと企画の職場体験実習に取り組んだ。期間：令和6年9月30日～10月11日

（8）求職活動支援

就労支援機関と連携を取り、就労支援活動を実施した。

① G社

Hさん男性（45歳） 就労支援センターぽけっとより求人紹介を受け雇用前実習に取り組んだ。期間：令和7年2月13日～2月19日 結果：不採用

（9）フォローアップ支援

SNSのトラブルに巻き込まれたケースのサポートを行った。

① 相談支援員にコーディネーターとなってもらい、企業、弁護士とともに問題解決に取り組んだ。仕事には影響なく、雇用を継続している。

7. 余暇活動（共通）

（1）納涼大会

事業所ごとでの開催となった。コンパクトではあるが、利用者のニーズに応えることができた行事となった。

（2）学園祭

6年ぶりに法人全体での学園祭を開催した。ボランティアを受け入れ、地域交流につながった。

（3）バス研修旅行

かわさきエコ未来館では、ゴミの分別やリサイクルについて学び、午後は川崎水族館を観光した。

8. 職員研修（共通）

（1） 他事業所の取り組みを知ることと、施設間交流を目的とした視察研修で、秦野市にある松下園を視察した。平均工賃 35,000 円超という高工賃の取り組みを学ぶことができた。

（2） 刈払機の講習に参加した。

（3） アンガーマネジメント研修に常勤職員 1 名が参加した。

（4） 法人内研修

① 6月に交通安全と防犯をテーマに全職員対象の研修を行った。

② 2月に自閉症支援研修および法人内事業所の取り組みを知ingことをテーマに事業所説明研修を行った。

9. 事業所運営（共通）

- （１）障害特性、人権擁護、虐待防止等の研修を中沼ジョブセンター会議にて行った。
- （２）虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- （３）火災・地震を想定した避難訓練を実施した。

10. 地域活動（公益活動、共通）

開 催	行 事 名	場 所
7 月	納涼大会	中沼ジョブセンター
10 月	学 園 祭	中沼ケアセンター
12 月	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ
1 月	南足柄市社会福祉協議会主催 モデルロケット教室	南足柄市立南足柄小学校
2 月	川村小学校モデルロケット教室	山北町立川村小学校

11. 支援他

- （１）個別支援計画面談を10月、3月に実施した。
- （２）中沼ジョブセンター会議を毎月1回開催した。
- （３）工賃会議を8月、2月に実施した。
- （４）利用者健診
 - ・ 健康診断を年1回実施した。
 - ・ 内科健診を年2回実施した。
 - ・ 歯科検診を年1回実施した。
 - ・ インフルエンザ予防接種を実施した。

4. コスモス学園中沼ジョブセンター

1. 事業内容 生産事業部 就労支援事業

2. 目標達成の手段・具体的方策

(1) 前年度比 95%以上の売上目標に対し、101%の売上を達成した。

【令和 6 年度総括】

成形機 3 台を払下げ、新たに H 社より中古成形機 2 台を購入し、6 台体制で製造を行ったが納期遅れ等もなく受注に答えることができた。物価高騰による価格の見直しも行われ、前年度比を上回る売上が達成できた。

① 既存顧客からの受注製品増加

全体的には受注減であったが、価格の見直し交渉が認められ、売上額は前年比 101%を達成した。

② 営業力の強化・新規顧客の開拓

既存顧客から新規案件があった。令和 7 年度も引き続き営業活動が続けていく。

③ 成形機稼働の効率化による生産能力向上

成形機 6 台体制で生産をし、夜間無人稼働や生産計画の見直しを行った結果、効率的な生産体制が確立された。

④ 利用者作業につながるシームレスな営業活動を行う。

取引先との新規案件では、成形後の後工程も踏まえて交渉をした。

⑤ 顧客から信頼できる取引先としての地位を確立する。

B 社による「サプライヤー期待値のフィードバック」では、対象取引先の評価平均を上回ることができた。

⑥ 製品単価の見直しについて、交渉を継続する。

電気代、人件費等の製造原価上昇分を反映させた新単価での取引が実現した。

(2) 組織体制の強化を図る

① 中沼ジョブセンター将来検討会議にて、どのような人材を求めていくべきかを検討し、成形技術者に絞り、求人・育成をしていく方針を固めた。

② プラスチック分科会、中沼ジョブセンター将来検討会議において今後の長期事業計画について定期的に検討した。

③ 生産活動のデータ管理（稼働率・良品率等）を行った。

④ 職員教育は、新規受注品を対象に適時品質教育を実施した。

(3) 適切な設備投資、修繕を行う

① 設備投資では、取引先である H 社と交渉し、中古の成形機を安値で購入し、2

台を入替え、1台を廃棄することで6台体制によるスリム化が実現し、課題であった中沼ジョブセンター内の安全確保と資材置き場の確保が解消した。

② クーリングタワーより供給される水に異物が混入しない対策を講じた。

③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の推進を図り定期清掃を徹底した。

（４）品質管理体制の強化

ISO9001の定期審査を受け、品質管理が効果的に運用されていることが認められた。

（５）環境改善活動

KESステップ1規格の確認審査では、規格に準じた環境改善活動を実施していることが認められた。

（６）資格・免許の取得については、該当者がいなかったため実施しなかった。

（７）令和6年度重点取組事項

① 令和5年度新規受注製品の生産体制を強化した結果、受注から製造・品質管理・出荷までの工程を利用者の作業参加も含めて確立することができた。

② 利益率の向上は、成形機の入替による省エネ化と、物価高による価格交渉を行い、電気代・人件費等の製造原価上昇分を反映させた新単価での取引が実現できた。

5. コスモス学園中沼ケアセンター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員 27 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	170
女	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
計	33	33	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	386
退所		1											1
入所													

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和5年度 107.0% 7,572名

(2) 令和6年度 104.7% 7,377名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月19日～22日	環境フェア	南足柄市文化会館
11月14日	日向公民館祭り	日向公民館
12月7日	県西地区障害者文化事業	川東ゆずセンター マロニエ

5. 日中活動

(1) スノーズレン

落ち着いた雰囲気の中での活動なので、職員と話をしたい方やゆっくりと過ごしたい方が好んで参加している。モニターにリラックスできる動画を流すことで雰囲気作りが進んだ。

(2) 運動・ストレッチ

ネット環境を整えたことで流せる音楽の幅が広がり、これまでより楽しんで体を動かす機会を提供できている。また、運動後はクールダウンとしてストレッチも行っている。運動後に余暇を取り入れ、より利用者が楽しめるようにした。

(3) 音楽・カラオケ

選曲できる方については、好きな曲を選んで歌うことでリフレッシュしている様子がうかがえる。選曲が難しい方については、職員が利用者の好きな曲を選曲することで表情良く過ごせている。マイクの消毒は継続して行っている。

(4) DVD鑑賞

ゆっくりと過ごす日課として取り入れており、利用者は集中して鑑賞している。また、リクエストを聞くことで、見たいDVDを見られるようにしている。インターネットで動画を見られるようにしたことで利用者の好みに合わせやすくなった。車いすの利用者がマットやソファに降りられるよう対応した。

(5) 外出活動

公園までドライブし、そこで散歩をすることで歩行時間の確保、気分転換を図っている。行ける公園のレパトリーを増やした。

(6) アニマルセラピー

中沼ジョブセンター、松田センターの利用者も参加されており、セラピー犬が来るのをとても楽しみにしている様子がうかがえた。セラピー犬と過ごすことに慣れてきており、室内の散歩を一緒に行う利用者が増えた。

(7) 地域交流

作品展へはコロナ以前とほぼ同等まで参加できるようになった。作品展示をすることで事業所の紹介をすることができた。

(8) 全般

余暇活動について、新しいボランティアを呼ぶことや買い物外出を再開することを検討したが、実際には行えなかった。

6. 就労活動

(1) 制作活動

季節に応じた制作を今年度も行い、頻度を上げて取り組むことができた。自主生産品の販売機会が限られてしまったため、制作を行う時間が多かった。制作にタブレットを取り入れることで幅が広がった。

(2) リサイクル作業

アルミ缶回収については地域の方の協力もあり、継続して行えている。また、アルミ缶の分別についても利用者が携わる機会が増えた。

7. 余暇活動

(1) バス旅行

御殿場の時之栖で食事会を行った。久々の遠出ということもあり楽しまれていた。

(2) クラブ活動

今年度も中沼ケアセンター単独で行った。

8. 職員研修

- (1) 利用者個々の特性に応じた支援の考え方が少しずつ職員に浸透しており、実践に結びつく場面が増えている。
- (2) 6月7日(金)全職員を対象に「防犯対策・交通安全」の研修を行った。
- (3) 2月22日(土)全職員を対象に研修を行った。午前の部では「自閉スペクトラム症について」、午後の部では、他事業所職員向けに中沼ケアセンターの事業所紹介を行った。

9. 事業所運営

- (1) 利用者の意思に則った支援を全体で心がけ、それを実行できるように取り組んできた。今後は専門性のある支援を行えるよう外部研修に参加し、事業所内研修も行えるようにする。
- (2) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。
- (3) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

10. 支援他

利用者の過ごしやすさを高めるために、必要な方についてはパーテーションを使用し、これまでより落ち着いて生活できるよう対応した。また、絵カードを使用する利用者を増やしたことでお互いに意思伝達できる場面が増えた。

6. 居宅介護事業所それいゆ

1. 事業内容 居宅介護・重度訪問介護

2. 利用時間

- (1) 令和5年度 6, 216.00時間
- (2) 令和6年度 6, 505.50時間

3. 支援内容別利用時

(1) 令和5年度

- ① 身体 5, 863.00時間
- ② 家事 228.00時間
- ③ 通院 125.00時間
- 総利用時間数 6, 216.00時間

(2) 令和6年度

- ① 身体 6, 112.50時間
- ② 家事 215.00時間
- ③ 通院 178.00時間
- 総利用時間数 6, 505.50時間

総利用時間数は、前年度より289.5時間増であった。身体介護、通院等介助の利用が増えた。

4. ヘルパー業務

(1) 日常生活支援

前年度同様、感染防止策を講じながら対応にあたった。利用者の心身の状況や特性を踏まえた支援を行い、それぞれの状態に応じた声かけや見守りを実施した。こうした支援を通じて、職員の対応力の向上やスキルアップにもつながった。

(2) 適切なサービス提供

適切なサービスを提供するために、相談支援事業所との情報共有を図り、連携を密にしながら、計画書に基づいた支援を実施した。

(3) 人権擁護

ミーティングにおいて、利用者の立場に立ったサービス提供を心がけるとともに、支援内容や職員の対応が適切であるかを確認した。あわせてケース検討を取

り入れ、職員一人ひとりの人権意識の向上を図った。

(4) 地域連携

地域連携の強化を図るため、医療機関や相談支援事業所などとの関係構築に努めた。質の高い支援サービスの提供を目的として、関係機関や他事業所との情報交換も積極的に行った。

(5) 守秘義務の徹底

個人情報ヘルパー同士で共有する機会が多いため、情報漏洩を防止する目的で、随時ミーティングや個別対応を通じて周知を図り、守秘義務の徹底に努めた。

5. 職員研修

(1) 6月7日(金)正職員を対象に「不審者の対応について」「事故を起こさないためには」の研修を行った。

(2) 2月22日(土)全職員を対象に研修を行った。午前の部では「自閉症スペクトラムについて」、午後の部では、「他事業所の支援を知る」を行った。

6. 事業所運営

(1) 法人内各事業所との連携により、サービス提供時間を増やすことができ、支援、協力体制の強化につながられた。休日の利用が増えたことにより女性職員を2名配置したことで、サービス提供時間を増やせた。

(2) 虐待防止チェックリストを活用し、話しにくい内容でも個々にて話をし、支援強化を図った。

(3) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会により、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(4) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応を周知した。

7. コスモス学園松田センター

1. 事業内容 生活介護

2. 利用者在籍状況 定員 18 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
退所													
入所	1												1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和5年度 103.0% 4,878名

(2) 令和6年度 104.8% 4,924名

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
11月24日	松田町健康福祉センターまつり	松田町健康福祉センター
12月7日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ
12月9日～12月17日	障がい者街角アートギャラリー	さがみ信用金庫松田支店
2月5日～2月7日	ちいきふくし博	南足柄市役所

5. 日中活動

(1) スヌーズレン

プロジェクターや光ファイバー、お香、オルゴールサウンドを使用し、リラックスした環境を設定できた。

(2) 運動

利用者個々の状況に合わせてプログラムを設定し、個々の状態に合った運動をニーズ別で行った。マットを使用したストレッチ、ロング歩行、YouTube や音楽DVD を見ながら音楽に合わせて体操など楽しく継続して取り組めた。

(3) 音楽ゲーム・カラオケ

カラオケは午後のプログラムに行い、参加した利用者は曲に合わせて体を動かしたり、聞いたり楽しく参加できていた。利用者が選んだ曲に合わせて、手を叩いたり利用者個々の参加方法で楽しめた。

(4) DVD鑑賞

利用者が自己選択したDVDやYouTubeをニーズ別に上映し、2か所に分かれて行った。自己選択をすることで、みんなで楽しくDVD鑑賞できていた。

(5) 外出活動

車両の台数を増やしてドライブ組、歩行組に分かれて取り組んだ。感染症予防のため、車内は換気をし、大型施設には行かずに公園や川沿いなど人が少ない場所で行った。

(6) 奉仕活動

松田センター周辺の公園やパークゴルフ場、川沿いの美化活動（ごみ拾い）を月2回、少人数に分かれて行った。利用者から挨拶をし、地域の方と話す場面もあった。

(7) 足湯

11月～2月に実施している。入浴剤を入れ、足をマッサージすることで利用者全員がリラックスして参加できていた。足元の血行促進にもつながった。

(8) 地域ボランティアとの交流

月1回のクラブ活動や行事に演奏ボランティアのクレッシェンドの方々が利用者の好きな音楽を演奏したり、一緒に歌ったりと楽しく行えた。

ストレッチ講習では、利用者個々に合わせたストレッチ方法や関節の可動域など講師の先生と一緒にいき、マニュアルを作成し、日々の運動プログラムに取り入れた。

(9) 法人内他事業所との交流

月1回、中沼ケアセンタープログラムのセラピー犬に参加している。ニーズのある利用者が多く、様々な利用者が参加できた。職員の情報交換もできた。

(10) 日中活動全般

月1回、月末に医療ケア会議を行い、サービス管理責任者、看護師、支援員が参加し、情報共有ができた。看護師の出勤日が整い、医療対応利用者が安定した利用日数を維持することができた。

6. 就労活動

(1) 制作活動

利用者個々に折り紙や画用紙の色を選んで作成できていた。1つの作品を分担して様々な利用者が時間をかけて完成まで取り組んでいた。

(2) コピー機部品の分解（リサイクル）・検査

作業工程を増やし、複数の利用者が作業を行うことができていた。全体的に集中できる時間も長くなった。

(3) 重機部品の組付け・検査

新型コロナウイルスの影響で生産が中止になっていたが、生産が再開している。

細かい作業だが、組付け作業の希望者が多く、様々な利用者が取り組んでいた。

(4) 広報誌の配達

自治会から依頼された広報誌を組ごとに丁合し、各組長宅まで配達をしている。
地域の方と交流をすることができていた。

(5) その他

就労継続支援B型と連携して内職作業（コア材詰め、トッテ束ね、バンド作業）
を様々な利用者が集中して取り組めた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーが
開催され、個々の作品や利用者全員で協力して作成した貼り絵を展示会に出展し
た。

コスモス学園松田センター

1. 事業内容 就労継続支援 B 型

2. 利用者在籍状況 定員 22 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
男	21	21	21	21	21	21	21	21	22	22	22	22	256
女	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	28	28	28	28	28	28	28	28	29	29	29	29	340
退所													
入所									1				1

3. 平均利用率・累計利用人数

(1) 令和 5 年度 105.8% 6,124 名

(2) 令和 6 年度 107.6% 6,173 名

4. 工賃実績

(1) 平均工賃月額 15,156 円 (前年度 15,360 円)

(2) 平均工賃時給 191 円 (前年度 194 円)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
総額	291,790	318,960	340,230	286,970	321,870	280,350	293,940	320,640	292,100	321,980	323,280	900,300	4,292,410
人数	526	550	463	538	476	509	551	492	536	517	497	518	6,173
時間	1,826	1,968	2,087	1,750	1,926	1,764	1,808	1,986	1,748	1,904	1,945	1,754	22,466

5. 日中活動

(1) 奉仕活動（公益活動）

川沿いや松田山、新松田駅付近で月 2 回、美化活動（ごみ拾い）を行い、地域の方との交流も定着し、声をかけてもらうことが多かった。

(2) 廃品回収（公益活動）

古紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶等を法人内事業所、保護者に呼びかけて回収を行った。月 1 回、松田町指定の再生資源回収業者が回収した。

(3) 歩行

健康診断の結果や筋力維持の目的がある利用者は、ご家庭と話し合い個別に時間を設定して行った。作業の合間に行うことで気分転換もできていた。

(4) フリープログラム

作業内容変更時に YouTube、DVD 鑑賞時間を設定し、気分転換をすることがで

きた。

県西地区障害者文化事業やちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーが開催され、作業の合間に個々で作品製作を行い、作品展示に参加した。

6. 就労活動

(1) コピー機部品の分解(リサイクル)・検査

I社の作業に携わる利用者が増え、丁寧に取り組むことができた。

(2) プラスチック製品の検査・計量

中沼ジョブセンターと連携を取り、様々な作業に取り組むことができた。

(3) マスクの梱包作業

J社からの受注は減少しており、8種類のマスク梱包作業を行っている。マスクの梱包数によって梱包方法が異なったが、指定された数、向きを揃えて取り組めた。

(4) 化粧品サンプル・梱包作業

D社からの受注で化粧品サンプルセット、封入作業を行っている。作業工程を守り、納期に間に合うように取り組めた。

(5) 自動車部品のリサイクル加工

K社からの受注は月によって波はあったが、月平均約3万個程注文があり、納期に間に合うように取り組めた。

(6) 広報誌の丁合作業

株式会社あおぞらポストから月末に6,000部の丁合作業の受注があり、中沼ジョブセンターと連携を取りながら、納期に間に合うように取り組めた。

(7) 清掃活動

就労継続支援B型棟の清掃を行った。トイレや廊下、作業室を掃除機、モップで丁寧に行った。引き続き、感染予防で手すりや手が触れる場所のアルコール消毒は徹底して行った。

(8) 施設外就労

J社のマスク梱包作業は小田原工場まで行き、機械を使った梱包、箱入れ、検査をミスなく取り組めた。D社での作業は、令和5年9月から中止になっていたが令和6年4月から再開している。月によって生産量は異なるが複数の利用者が携わることができた。

(9) 自主生産品作成

松田町健康福祉センターまつり、新松田駅前のコスモス館、山北町、大井町のともしびショップに縫物製品の雑巾を販売した。

(10) その他

中沼ジョブセンターと連携して、神奈川県共同受注作業で全国社会福祉法人経

営者大会に使用する冊子入れ、鳴子組み立て作業を指定された作業手順どおり行うことができ、複数の利用者が携われた。

令和6年度の目標工賃（時給）は205円だったが、L社の施設外就労終了やその他の内職受注量も減少し、平均工賃（時給）は191円となった。

7. 余暇活動（共通）

（1）生活介護レクリエーション

9月13日（金）事業所内で調理活動（メロンソーダ作り）、ミニ運動会を行い、パン食い、くす玉割り、借り物競争、玉入れを行った。2チームに分かれて競技に参加した。

2月14日（金）事業所内で映画鑑賞、ティータイムをして過ごした。映画館に行ったようにチケット購入や飲み物、ポップコーンなどを自分で選択した。

（2）就労継続支援B型レクリエーション

9月13日（金）午前は事業所内で調理活動（かき氷作り）、パン食い競争を行った。午後から南足柄運動公園に行き、公園内を走ったり、ボールを使用したゲームを行った。普段、行わない活動のため、様々な利用者がリフレッシュできた。

2月14日（金）午前は外出活動（松田桜まつり）に参加している。お小遣いを持って好きな買い物をしながら楽しめた。午後から映画鑑賞を3カ所に分かれて行った。

（3）生活介護バス旅行

11月8日（金）中沼ジョブセンターのマイクロバスを借用して、静岡県御殿場市にある時之栖のバイキングレストラン麦畑で食事会を行った。

（4）就労継続支援B型バス研修旅行

中沼ケアセンターのマイクロバスを借用して、静岡県御殿場市にある時之栖に行き、運営会社であるGKB株式会社の説明を受け、バイキングレストラン麦畑で食事会を行った。

（5）クリスマス会

12月20日（金）ニーズ別で行うため、就労継続支援B型、生活介護に分かれて行った。お話ボランティア（パタパタママ）、音楽ボランティア（クレッシェンド）の演奏や利用者発表などを行い、楽しく取り組めた。

（6）クラブ活動

ドライブクラブ、音楽クラブ、映画クラブ、クラフトクラブの4つのクラブに分かれて、月1回土曜日の午後を余暇で楽しんだ。

8. 職員研修（共通）

（1）6月7日（金）に「不審者の対応について」「事故を起こさないためには」の

2部構成のテーマで行い、松田警察署の生活安全課、交通総務課に講師をお願いし、全職員対象で中沼ケアセンター食堂、1階作業室で研修を行った。

研修では、まず、不審者を施設に入れないためには、入ってしまったらの順番でロールプレイ中心に行った。後半は、送迎や外出活動に関わる運転について事故の説明、映像を確認した。2つのテーマとも利用者の命に関わる内容で、チームとして対応することが重要だと全体で共有できた。

(2) 2月22日(土)に全職員対象で研修を行った。

午前の部の、「自閉スペクトラム症について」では、自閉症の特徴やタイプなど基本的な情報を学んだ。グループディスカッションでは、事例をもとに話し合い、各自が思っていることを出し合っている。各職員によって自閉症のイメージや対応が違ったが、いろいろなことを想定して利用者目線の支援を優先することが重要だと確認することができた。

午後の部の、「お互いの事業所の取り組みを知ろう」では、知りたい事業所を選択して各事業所のプレゼンテーションを聞くことで、支援や関わり方、作業の内容などを確認することができた。聞けなかった事業所について別の機会で見たいという意見も多かった。

(3) 事業所内研修で「障害福祉サービス等報酬改定について」、「ハラスメント」の研修を行った。

(4) 外部研修

5月28日(火)「摂食・嚥下の基本と食事支援について」 職員1名参加

7月4日(木)～5日(金)「関東地区障害福祉関係職員研究大会長野大会」
職員2名参加

8月29日(木)「アンガーマネジメントの基礎と実践」 職員1名参加

9月27日(金)「あしがら成年後見センター虐待対応」 職員2名参加

10月3日(木)～4日(金)「全国知的障害福祉関係職員研究大会福井大会」
職員2名参加

10月8日(火)「知的障がいのある方の支援」 職員1名参加

1月29日(水)～30日(木)「日中活動支援部会全国大会関東地区埼玉大会」
職員2名参加

3月11日(火)「リスクマネジメント研修」 職員1名参加

9. 事業所運営(共通)

(1) 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を他事業所と連携して行った。自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止・人権擁護の徹底を図った。

(2) 防犯、防災対策として災害時事業継続計画(BCP)を更新し、有事の際の対応

を周知した。

- (3) 6月24日(月)、9月27日(金)、1月27日(月)に河内地区の自治会長、地域の方と合同避難訓練を実施した。地域の方には横断歩道の誘導や利用者の安全確保を職員と一緒に取り組んでいた。

10. 令和6年度活動スケジュール

県西地区障害者文化事業、ちいきふくし博、障がい者街角アートギャラリーの作品展示や事業所紹介に参加した。

11. 支援他

- (1) 個別支援計画面談を10月、3月に実施した。※電話面談を行った。
- (2) 松田センター・あすなろ合同会議を毎月1回実施した。
- (3) 生活介護・就労継続支援B型部署会議は月1回実施した。
- (4) 工賃会議を7月、12月に実施した。
- (5) 医療ケア会議は月1回実施した。
- (6) 利用者健診
 - ・健康診断を年1回実施した。
 - ・内科検診を年2回実施した。
 - ・歯科検診を年1回実施した。
 - ・インフルエンザ予防接種を11月に実施した。
- (7) ストレッチ研修は、12月11日(水)、2月26日(水)に実施した。
- (8) 避難訓練は6月、9月、1月に実施した。

8. 相談支援事業所あすなろ

1. 事業内容 特定相談支援・指定障害児相談支援

2. 市町村別登録者数（令和7年3月31日時点）

市 町 村	人 数	市 町 村	人 数
小田原市	28	山北町	4
南足柄市	41	箱根町	0
大井町	18 (2)	湯河原町	1
開成町	11 (3)	秦野市	16
中井町	1	藤沢市	2
松田町	18 (1)	横須賀市	1
		合 計	141 (6)

※ () は障害児相談利用者数。

3. 活動内容

(1) サービス等利用計画の作成

相談者の取り巻く環境の変化に応じてサービスの追加、支給量の調整を図った。また、利用開始が円滑に進むよう事業所紹介、見学同行を実施した。

権利擁護の観点に基づいて、本人の言葉や思いを汲み取った支援計画を作成した。本人を中心として、場合によっては家族の協力を得ながら面談を行うなど意思確認をする場を設けた。

本人の興味や関心などから活動参加の意欲を引き出し、本来持っている能力を発揮できるよう、担当者会議の実施、事業所との連携を図った。

(2) モニタリング

相談者の状況に応じた面談を行い、関係先にも電話や訪問にて聞き取りを行った。通所事業所、訪問系サービス事業所等と連携を取り、相談者の状況を確認している。本人、家族や支援機関と継続的に情報交換することで、サービス調整、会議設定を円滑に実施することができた。

(3) 地域における社会資源の活用

障害福祉事業所のみならず、行政のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー、病院の地域連携室など広く地域の関係機関と連絡を取り、本人に必要な社会資源の調整を行った。多職種が関わるケースでは定期的な担当者会議を行って情報共有した。足柄上地域自立支援協議会相談支援部会の会議や茶話会などの参加を通じて相談支援事業所間での地域情報の共有を図った。

ご家族の状況に応じて、社会福祉協議会の提供する事業の紹介や地域包括支援センターへの情報提供を行い、地域生活の維持や生活基盤の安定を図った。

4. 職員研修

法人実施の職員研修に参加した。

5. 事業所運営

(1) 研修等を通じて計画作成におけるプロセス等の質の向上・充実に努める

あしがら後見センターや足柄上地区地域自立支援協議会相談支援部会等の行った事例検討会や虐待対応研修に参加し、相談支援の質の充実・向上を図った。

(2) 日程調整、書類作成等のプロセスを見直しサービスの効率化を進める。

事業所内での定期的な会議を行い、進捗確認、日程調整を実施し、効率化が図れた。

(3) 経費削減を徹底する。

面談、書類提出、法人本部への事務処理など効率よく業務遂行ができるようにした。

(4) 感染症対策を踏まえた柔軟な面談方法の確立、実施を進める。

直接対面での面談、電話での面談など本人やご家族の希望を踏まえつつ、感染症のまん延状況に合わせて柔軟な対応を行った。

6. その他

(1) あすなろ登録者の計画相談、モニタリング面談を随時実施した。

(2) 松田センター・あすなろでの毎朝の打ち合わせ、月1回の合同会議を行い、連携強化を進めた。

(3) あすなろ部署会議を毎月1回実施した。

9. コスモスホーム

1. 事業内容 共同生活援助(介護サービス包括型)
短期入所(空床利用型)

2. 利用者在籍状況 定員30名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ひだまり	148	136	141	147	122	133	137	133	142	138	136	152	1,665
やまびこ	323	334	321	338	338	324	343	332	330	322	306	334	3,945
こもれば	313	316	314	316	287	284	307	288	308	299	271	300	3,603
合計	784	786	776	801	747	741	787	753	780	759	713	786	9,213
退居									1				1
入居	1												1

3. 平均利用率

- (1) 令和5年度 82.5%
(2) 令和6年度 84.1%

4. 地域行事

開催日	行事名	場所
6月16日	市・美化デー	中沼公民館・コスモスホーム周辺
9月1日	市・中沼自主防災訓練	中沼公民館(雨天中止)
11月10日	中沼自治会秋祭り	中沼公民館
12月7日	県西地区障害者文化事業	川東タウンセンターマロニエ

5. 支援内容

- (1) 障害者の地域生活・地域移行について

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されて様々な活動の緩和がなされる中、継続して利用者の状態に応じ、自主性を保ち、一人ひとりの「ふつうに暮らす」を支援できるよう行政、医療、専門機関、日中事業所等と連絡調整を行っている。コスモスホーム会議、クルー会議、また現場において職員への技術指導および助言を行い、利用者の人格に十分に配慮しながら統一した支援を提供した。

- (2) 日常生活能力の維持・向上

- ① 利用者の障害特性を踏まえ、能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう「各自のできることを増やしていこう。」を継続目標とした。

ア やまびこ・こもれば

食器洗い、洗濯、布団干し、窓拭き、行事準備など個々に進んでできるようになってきている。

イ ひだまり

昼薬、資料や段ボールを法人内の日中事業所に届けることを継続して行った。

② 服薬管理・金銭管理

服薬管理対象者 21 名（令和 5 年度 20 名・令和 4 年度 20 名）、塗布薬および季節等の配薬を含めると 27 名（令和 5 年度 25 名・令和 4 年度 25 名）であった。

金銭管理対象者 24 名（令和 5 年度 21 名・令和 4 年度 21 名）については利用者預り金規程に則り不備のないよう実施した。

③ 生活相談

ア 人間関係

例年同様に人間関係についての相談が多かった。人間関係については自分で解決できるよう支援している。自分で解決が困難な場合は溜め込まず職員に相談したり、相談支援事業所など関係機関も利用して、解決につなげるよう支援している。安定した人間関係を維持できるよう支援を継続中である。

イ 体調面

前年度に続き、身体の重度化・高齢化などに付随する内容の相談が多かった。関係機関（医療、行政、相談支援等）との連携がさらに求められている。また、間食等管理対象者 4 名（令和 5 年度 1 名・令和 4 年度 1 名）の支援を行うことで、体調面、メンタル面の安定と作業意欲向上につながっている。

ウ 今後について

自分の今後の在り方について相談を受けるケースが多くなった。本人の意思を汲み取りながら様々なサービスの活用を模索していく必要性が出てきている。

（3）本人の望むサービスの提供

本人の意向を尊重し、モニタリングの実施でニーズを引き出し、支援計画の作成と見直しを行い心身の状況、その環境に応じて自立に向けた支援が提供できるよう取り組んだ。

（4）日中支援

心身の不良等により予定した日中活動サービスを利用できなくなった利用者や就労先欠勤の利用者に対する昼食提供や様子観察、通院同行等、関係機関への連絡調整は、法人内の日中事業所、居宅介護事業所との連携により充分な対応ができた。

前年度に続き、新型コロナウイルスの感染者が出たことにより、利用者がコスモスホーム内で隔離された期間は法人内の職員の応援により感染が広がるケースもなく運営を維持できた。

(5) 通院同行

13名の定期通院189件と16名の緊急・臨時通院47件（令和5年度13名の定期通院158件と15名の緊急・臨時通院36件）を実施し、利用者の健康増進、維持に努めた。前年度同様に全体的に利用者が複数の定期通院や緊急通院の頻度が増えているため定期通院については法人内の居宅介護事業所の通院等介助の利用が増えている。定期通院については、利用者の高齢化等に伴い、さらに増えることが想定されるため、対応職員の確保が必要となる。

(6) 地域活動

地域行事については定期的に参加し、6月に実施した市の美化デー(清掃活動)には5名の利用者がコスモスホーム周辺の側溝の清掃などに参加することができた。11月に「中沼自治会秋祭り」に3名の利用者と2名の職員で参加し、綿菓子店舗等を担当して地域交流を図ることができた。1月には地域のどんど焼きに利用者が参加した。継続して定期的に自治会などの関係機関と連絡をとり、次年度以降の活動につながるようになっている。

(7) 余暇活動

感染症等の状況も踏まえながら集団での外出活動は可能な限り継続し、余暇を目的とした外出活動や地域での催しにも参加できた。また、コスモスホーム内での活動についても季節折々の活動は継続して(七夕製作、花火、節分等)余暇を満喫している。個別での活動は継続して実施し、個々の買い物や外食(昼食)の機会の調整等を行い、個々のニーズに合わせた活動を提供した。移動支援など外部機関を活用した活動も継続している。

12月7日(土)の「県西地区障害者文化事業」に21名の利用者が参加した。なお、この日は昨年と同様に、大井町のデニーズで昼食を堪能した。

コスモスホーム行事は、10月4日(金)に「バーベキュー大会」を5年ぶりに実施し、25名の利用者が参加した。「忘年会」は12月14日(土)に中沼ケアセンター作業室にて、25名の利用者が参加して、カラオケ、お楽しみ抽選会などを実施して余暇を満喫した。

6. 職員研修

利用者支援の質的向上、安定した事業所運営の維持を目的に令和6年度は下記の研修に参加した。また事業計画に記載した正職員を対象とした入所施設等への実習が実施できなかったので次年度への課題となった。

5月30日(6月30日) 法人内職員研修 「不審者の対応について」

7月5日 第1回県西地区グループホーム連絡会 1名参加

7月29日 あしがら成年後見センター主催

第1回高齢障合同事例検討会 1名参加

9月12日、9月13日	第35回全国グループホーム等研修会 近畿地区大会 in 兵庫 1名参加
9月26日	第2回県西地区グループホーム連絡会 1名参加
9月27日	あしがら成年後見センター主催 福祉関係従事者向け研修会 「障害事業所の皆さんのための虐待対応研修会」 1名参加
1月29日	第3回県西地区グループホーム連絡会 1名参加
2月5日	障害者グループホーム職員研修 「虐待防止と虐待対応」 1名参加(ZOOM)
2月22日	法人内職員研修 AM「自閉症スペクトラム」 PM「法人内他事業所の支援を知る」
3月19日	令和6年度 小田原保健福祉事務所足柄上センター主催 精神保健福祉研修「分野を超えた多職種連携」 2名参加

7. 事業所運営

- (1) 利用率は前年度より若干向上している(1.6%増)。4月にこもれば2階に1名入居して満床となる。12月にこもれば1階から1名退去して1室空床となった。
- (2) 虐待防止・身体拘束適正化委員会にはリーダー層が定期的に出席して、内容を事業所職員に周知して、自己チェックリスト、メンタルチェックリスト、職場環境・業務に関するアンケートを実施し、虐待防止、人権擁護の徹底を図った。
- (3) 災害・感染症対策委員会にて感染症の発生、蔓延の防止に努めたが、新型コロナウイルスの感染(利用者14名、職員4名)が発生し、12月にインフルエンザA型に利用者4名が感染した。
- (4) 感染収束後も職員の一定期間のマスク着用の推奨、3密の回避、間隔を取った食事、定期的な手洗い、手指の消毒の徹底、定期的な館内消毒を継続して感染症対策に努めた。
- (5) 防犯対策については、引き続き各棟ごと施錠を徹底した。
- (6) 事業所設備管理
居室、リビングのエアコン清掃を実施した。劣化した箇所の鍵交換、水回り、居室エアコン、電化製品の部品交換を実施した。
- (7) 法人内事業所との連携については、継続して通常の勤務体制の協力依頼の他、利用者の個別に対するニーズが高まっていることから(通院対応、余暇支援対応等)、さらに連携を深めた対応が求められる。
- (8) 総合防災訓練
 - ① 11月15日に火災想定として通報訓練、避難訓練、消火訓練を実施した。
 - ② 3月28日に地震想定として避難訓練、消火訓練を実施した。
 - ③ 9月1日に南足柄市・中沼自主防災訓練に参加する予定であったが、雨天中止

となった。

8. 支援他

利用者の課題を共有し、本人、保護者の意向を汲み取り適切な支援を実施するため、コスモスホーム会議 12 回(月末の日曜日)、クルー会議 12 回(月末の水曜日)、利用者メンバー会議は今年度から通常再開として毎月ユニットごとリビングで意見交換などを実施した。また、個別支援計画作成のための面談を 3 回実施した。

9. 短期入所事業

今年度の新規契約については 1 名、利用総数については 160 名（令和 5 年度 229 名）となった。短期入所利用の要望は高い。新型コロナウイルス感染症等の状況を見極めながら、事業を継続していく。